



宝永小だより

No.24
福井市宝永小学校
令和7年3月4日

学校教育目標：ひとり立ちできる子 ～心身共にたくましく、進んで学び合い、高め合う児童の育成～
めざす児童像：進んで学び合える子・協力し合える子・心と体を鍛える子・ふるさとを大切にする子

心温まる「6年生を送る会」 2月21日(金)

1～2校時に、「6年年生を送る会」が開催されました。お世話になった6年生に対して感謝の気持ちや祝福の気持ちを伝えるため、1～5年生の子どもたちは自分の役割を果たしていました。6年生の子どもたちも下級生との触れ合いを一層深め、お手本となる立派な姿を示していました。第1部も第2部も、5年生の子どもたちの進行のもと、楽しいひとときを過ごすことができました。様々な場面で、子どもたちの1年間の成長が感じられ、さらに感動的なイベントとなりました。

<テーマ>
今までありがとう
私たちのリーダー
37人の輝く未来へ

第1部

① 第1部開始

にこフレ班ごとに集合。1年生が作った「にこフレ教室」入口の飾りをくぐって、6年生が入ってきました。司会・進行は5年生が務めました。



② ゲーム

「王様ジャンケン」など、にこフレ班で考えたゲームを楽しみました。



③ プレゼント渡し

2年生が毛糸で飾り付けをした「ももこハンガー」と写真付きの感謝状を6年生に渡しました。



④ 6年生の感想

楽しい時間を過ごした後、6年生から、感想とともに、にこフレ班のみんなにお礼の言葉が述べられました。

第2部

開始前には、ステージ袖に、緊張気味の1年生が、ペアの6年生と一緒に待っていました。

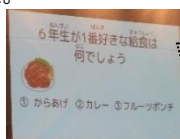
① 6年生入場

にこフレ班の色ごとに、1年生と6年生がステージに登場し、ペアごとに中央で仲良くポーズを決めました。



② 宝永レンジャー

1～5年生を支配した「ミスターH」からの手紙を6年生に紹介しました。



③ クイズ

5年生が、「6年生クイズ」を出題しました。6年生のことがよくわかりました。

【6年生クイズ】

- ① 1番好きな給食は？ フルーツパンチ
- ② 1番好きな教科は？ 体育
- ③ 6年間で1番身長が伸びた人は？ Tさん
- ④ 6年間で1度も虫歯になったことのない人の人数は？ 21人
- ⑤ 修学旅行で1番思い出に残ったところは？ USJ



④ 対決

各学年の代表者による「チェコリ玉入れ」と「綱引き」の対決をしました。どちらの対決も、6年生の圧勝でした。

⑤ 先生からのプレゼント

教職員が、「YELL」を合唱しました。子どもたちに内緒で、放課後に練習した成果を発揮することができました。

⑥ 6年生から

下級生のよいお手本だった6年生からは、漫才とクイズと劇と合奏の発表がありました。どれも、お見事でした。



【漫才・司会進行】

【宝永小クイズ】

- ① 私たちは何代目の卒業生？ 132代目
- ② 今までの全校児童の中で、1番多かったのは何人？ 1631人
- ③ 男女別の人数は？ 男子94人・女子106人
- ④ 今の校長先生は何代目？ 33代目
- ⑤ 学校の中には何部屋ある？ 34部屋
- ⑥ 4月に入ってくる1年生は何人？ 25人



⑤ ダンス

5年生の4人が、かっこいいダンスを披露しました。



⑥ 歌

「明日へつなぐもの」3年生が考えた振り付けをしながら、1～5年生が6年生に気持ちを届けました。素敵な歌声が、体育館中に響き渡りました。



【劇】



3年生が作った飾り



【合奏：「Paradise Has No Border」】

⑦ 思い出ムービー (動画)

5年生が、6年生の6年間の写真で紹介しました。1年生の頃のあどけない表情や、各学年での行事など、6年生が頑張ってきた足跡を全校で確認することができました。さらに、6年生が、1～5年生のときに、お世話になった担任の先生から、お祝いのメッセージをいただきました。



⑩ 6年生退場

1～5年生の温かい拍手に見送られ、6年生が退場しました。

子どもたちの感想を掲載します

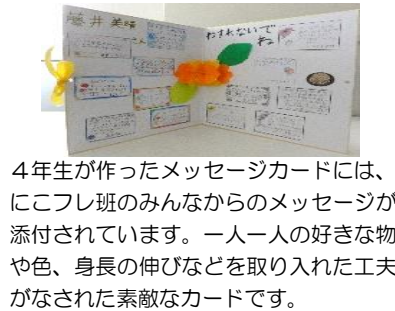
子どもたちは、「6年生を送る会」を通して、多くのことを学びました。協力することの大切さ、頑張ることの大切さ、心をこめることの大切さ等を実感し、上級生のすばらしさを知り、自分もこうなりたいと夢を抱く様子が、子どもたちの感想に記載されていました。1年間、にこフレ活動を積み重ね、最後に、「6年生を送る会」を開催できて、本当によかったと思います。

<1年生>おわらいがい人が、ことばもおわらいがい人ぼくできていて、おもしろかったです。がっそうが、すごかったです。6年生って、なんでもできて、すごいとおもいました。わかざりづくりも、たのしかったです。

<2年生>わたしは、6年生にプレゼントをあげるやくめだったので、そのやくをしかりできたので、よかったと思いました。6年生の合そうが、いろいろな音があって、おもしろかったです。5年生の女の子がキレッキレのダンスをおどっていて、かっこよかったです。げきとまんざいを自分もやってみたいです。つぎの「6年生を送る会」でも、自分のやくめをがんばりたいです。

<3年生>1年生と2年生がチェックリ玉入れて、6年生とたたかっていて、すごかったです。5年生のダンスがめちゃくちゃうまくて、すごかったです。思い出ムービーで、6年生が小さいころはあんなだったんだと、はじめて知りました。

<4年生>わたしが、「メッセージカード」を作るときにがんばったことは、「思いをこめて作ること」です。6年生のみなさんが無事に宝永小学校を卒業して、中学校でもがんばってほしいという願いをこめて作りました。5年生になったら、次の6年生をサポートして、下級生にやさしく話せるように、がんばりたいです。



<6年生>ぼくは、「6年生を送る会」で、まず、「ありがとう。」と児童・先生に言いたいです。なぜなら、児童のみなさんは、すばらしい企画を立ててくれたり、歌を歌ってくれたからです。先生方も歌を歌ってくれたからです。特に、思い出ムービーと、みなさん（児童・先生）の歌がさりました。思い出ムービーでは、いろいろな出来事を思い出し、振り返ることができました。

【担任の先生へ】

〇〇先生、1年という、あっという間の時間がたちました。ぼくは、〇〇先生から、いろいろなことを学びました。ときには叱り、ときには笑顔で笑っている姿は、いつまでも、ぼくの心に残ります。本当に、ありがとうございました。

家庭・地域・学校協議会 開催 2月21日(金)

<本校のスクールプランの目標数値達成結果：学校評価より>



	スクールプラン評価項目	結果
進んで学び合える子	・学級の友だちとの間で話し合う活動を通じて自分の考えを深めたり広めたりできている子	91% ◎ ↓
	・授業中、分かる喜びや、できる楽しさを感じられる子	96% ◎ ↓
	・全教育活動で自己決定する場を多く設定し児童が学年相応の表現力を身につけるように工夫している教職員	78% 新
協力し合える子	・学校が楽しい子	93% ↓
	・みんなで何かをするのは楽しい子	100% ◎ -
	・いじめを見たら大人に知らせたり、とめたりすることができる子	74% ↓
	・我が子は、学校生活を楽しんでおり、友人関係も良好であると考え保護者	95% ◎ ↑
心と体を鍛える子	・児童の良い点や頑張っている点を積極的に認め、ほめている教職員	100% ◎ -
	・体育の授業以外に、1日30分以上、体を動かしている子	92% ◎ 新
	・眼科受診率・歯科受診率	88%・85% ◎ ↑
	・早寝早起き朝ご飯などの規則正しい生活ができている子	83% ↓
	・我が子は、友達や地域の人にあいさつしていると考え保護者	77% ↑
	・我が子は、「我が家のスマートルール」を守っていると考え保護者	57% ↓
ふるさとを大切にす子	・郷土福井を大切にしたいという気持ちをもっている子	93% -
	・将来の夢やめざす目標をもっている子	85% ↓
	・学校は地域の人材や環境を生かし、つながりを大切にしていると考え保護者	91% ◎ ↓
	・子どものことで、気軽に学校に相談できると考える保護者	91% ◎ ↑
	・地域の人材や環境を積極的に活用している教職員	80% ↑

「6年生を送る会」終了後、第2回家庭・地域・学校協議会を開催しました。まず、前回の本協議会以降の子どもたちの学校生活の様子をスライドを使って、委員の皆様を紹介しました。そして、子どもたちの様子や令和6年度学校評価の結果について意見交換しました。

この学校評価は、2月に、子どもたちや保護者の皆様、教職員にアンケートを実施したものです。保護者の皆様には、お忙しい中、ご協力いただき、ありがとうございました。これらの結果やご意見を今後の教育活動に活かしていきたいと考えています。

<結果の見方> ◎：目標数値達成 ↑：昨年度数値よりアップ ↓：昨年度数値よりダウン -：昨年度数値と同じ 新：新規

*家庭・地域・学校協議会の委員の皆様からは、「いろいろなことをやっていて感心だ。」「ポジティブ教育で自己肯定感を高める取組はすばらしい。」「地域へ出かけるなどの体験を重視する活動は続けていってほしい。」等のご意見をいただきました。

*2月16日(日)の福井新聞の「県外先生から見た福井④」という記事に、本校の〇〇教諭が掲載されました。今年度、県外から本県に派遣されている教員は4名います。これまで、他の3名が順番に紹介され、今回、〇〇教諭が最後を飾りました。すでに読んでくださった方もいらっしゃると思いますが、本校の子どもたちや教育活動のすばらしいところが〇〇教諭の言葉で語られていました。本校の宣伝にもなりました。